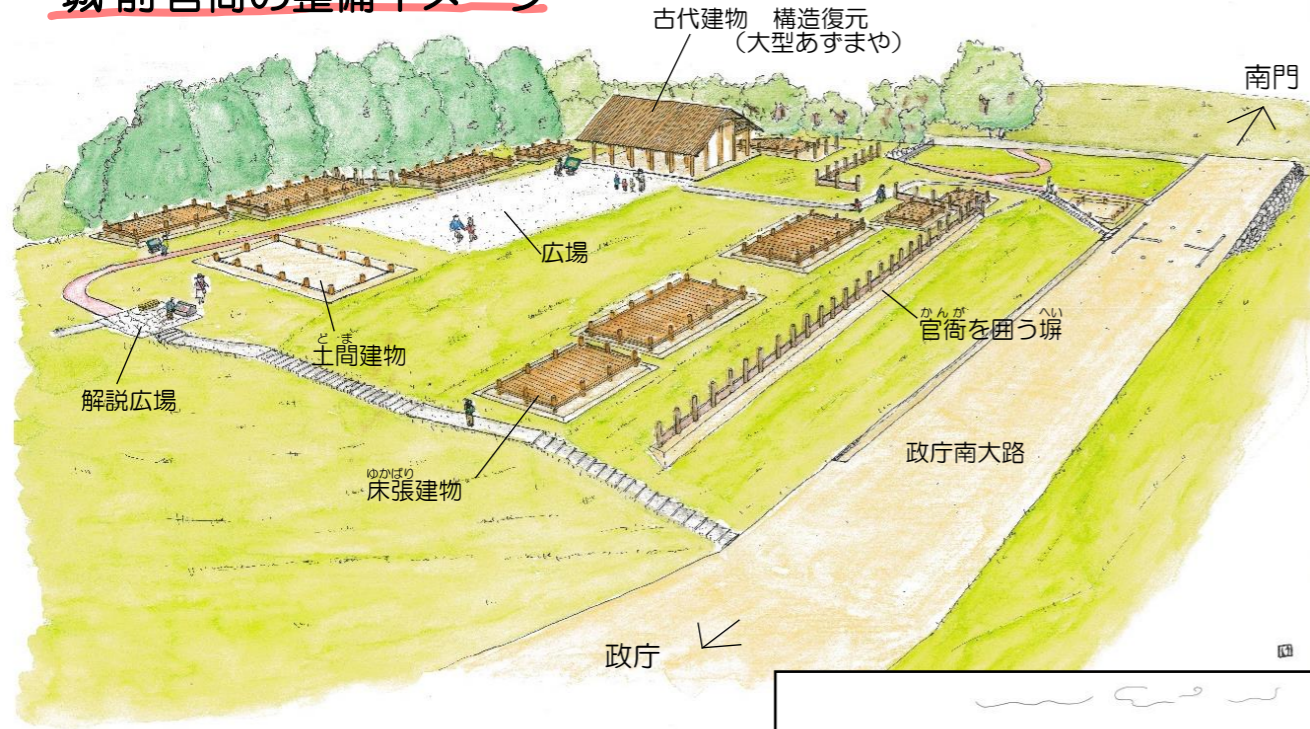
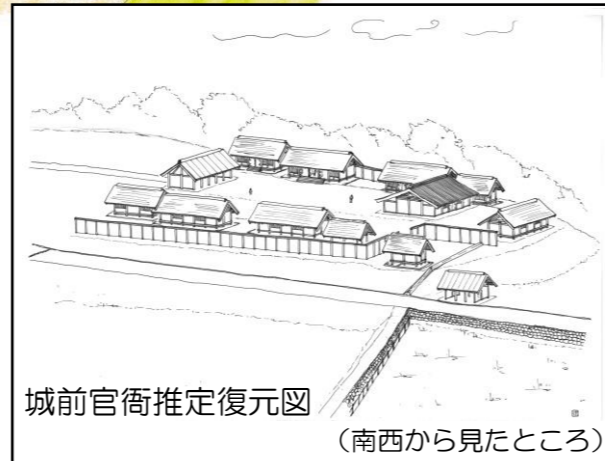


じょうまえかなが
城前官衙の整備イメージ



政庁南大路の東側の丘の上には、軍事や行政の重要な実務を担当した役所がありました。規則的に配置された建物群と、それらを取り囲んでいた塀などを表示します。

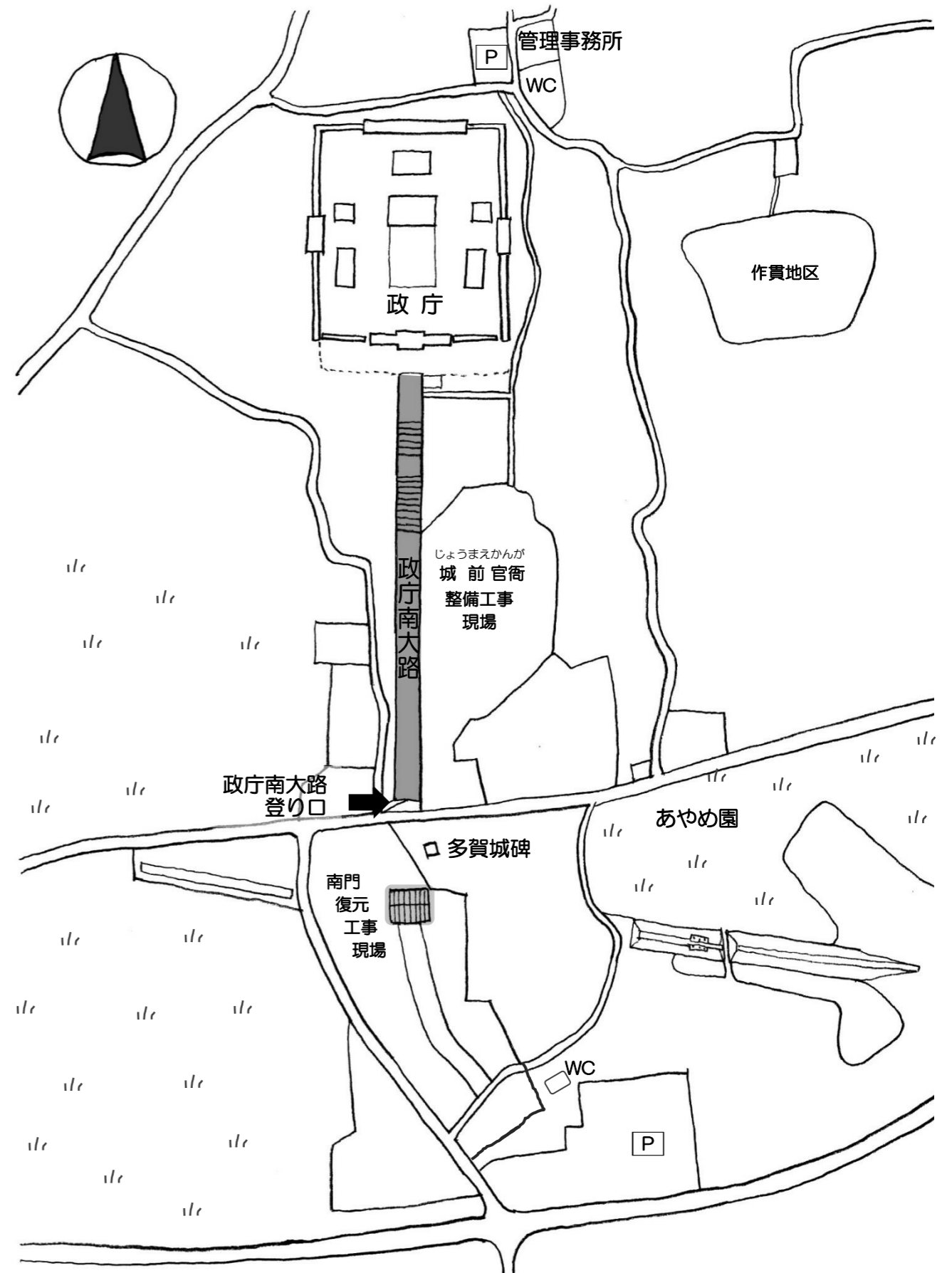


整備事業スケジュール

| 年 度 | | H29 2017 | H30 2018 | R元 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R4 2022 | R5 2023 | R6 2024 | |
|-----------|--------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------------|----------|
| 整備工事実施設計 | | ■ | | | | | | | | |
| 基盤 整備工 | 造成工 | | ■ | | | | | | 多賀城創建 1300年 | |
| | 排水施設工 | | ■ | ■ | | | | | | |
| 遺構 展示工 | 政庁南大路跡 復元工 | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | 供用 開始 |
| | 建物跡等表示工 | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | |
| 園路 広場工 | 園路・管理用広場 | | | | | | | ■ | | |
| 便益 施設工 | 説明板・ベンチ・ 照明灯・水栓 | | | | | | | ■ | | |

編集・発行 宮城県多賀城跡調査研究所
多賀城市高崎 1-22-1
発行日 令和3年(2021年)10月23日

多賀城創建 1300 年記念
特別史跡多賀城跡 政庁南大路が完成しました



宮城県多賀城跡調査研究所

政庁南大路

みどころマップ

政庁南大路は、政庁と南門をつなぐ多賀城のメインストリートです。発掘調査では道路側溝のほか、階段や石垣、排水施設などが発見されました。遺跡整備では政庁第Ⅱ期（天平宝字6年（762）～宝亀11年（780））の姿を再現しています。

石垣

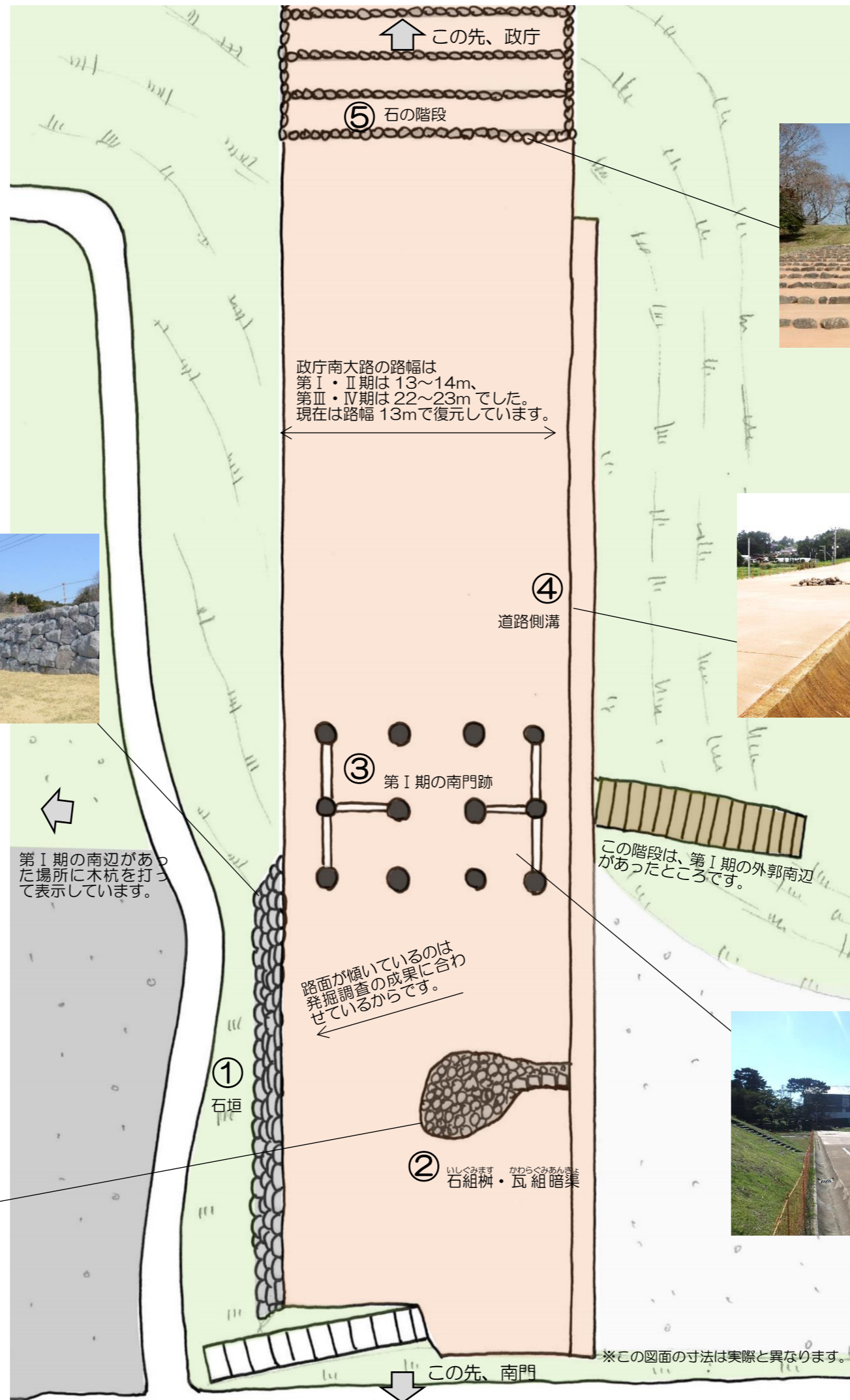


大路が湿地に面していたところは、大路の路肩がくずれないように石垣が積まれていました。写真（左）に写っている当時の石垣は地下に保存されています。再現工事では、地震でもくずれないように石の背面が補強されています。

大路につくられた排水暗渠施設



政庁南大路の最も低いところには雨水が集まってくるため、路面に穴を掘って石をつめた柵がつけられていました。柵と側溝が接続するところには瓦が並べられていました。集まった雨水は地下に設けた暗渠でさらに西側の低湿地へ排水しています。ここから多賀城の創建年代を裏付ける木簡が出土しました。



石の階段



政庁に近づくとつれ、地形が急に高くなっていきます。政庁南大路の勾配が急になるところには、玉石を使った階段が設けられていました。

道路側溝



発掘調査で確認された幅 80cm、深さ 25cm の道路側溝を再現しています。

第Ⅰ期の南門の位置表示



第Ⅰ期の南門の柱と壁を平面的に示しています。第Ⅱ期になると、ここから 120m 南の位置に建て替えられました。それが現在復元工事中の南門です。ちなみに、ここから東へ上がる階段の位置は、第Ⅰ期の外郭南辺の位置を示しています。